

岐阜総合

2010年(平成22年)2月13日(土曜日)

パラグアイの大豆 輸入拡大話し合う

中津川

小売業者と現地農家

パラグアイの日系移住農家と緊急性時食糧確保の農産物生産・輸出入



会社「ギアリンクス」(中田智洋社長、美濃加茂市)

は十二日、パラグアイの農業関係者と、県内外の小売業者らとの情報交流会を中津川市千旦林の「ちこり村」で開いた。

ギアリンクスは二〇〇九年度、パラグ

アイから大豆六百トを輸入し、みそ、しょうゆ、豆腐メーカーなどに販売している。

情報交流会は生産者であるパラグアイの農家らと、消費者である県内外の業者ら計六十人が参加し、大豆の輸入量拡大に向けて意見を交換した。

農家が「豆腐にできる大豆の種類は限られているが、日本人のニーズに合う大豆を生産し、ビジネスになれば「幸せだ」と商品化への取り組みを披露。日本側の小売業者代表は「日本人は安全性、品質とともに低価格、付加価値を求めている」と指摘した。

(本田英寛)

パラグアイの日系移住農家と県内外の小売業関係者らが意見交換した情報交流会。中津川市千旦林の「ちこり村」で